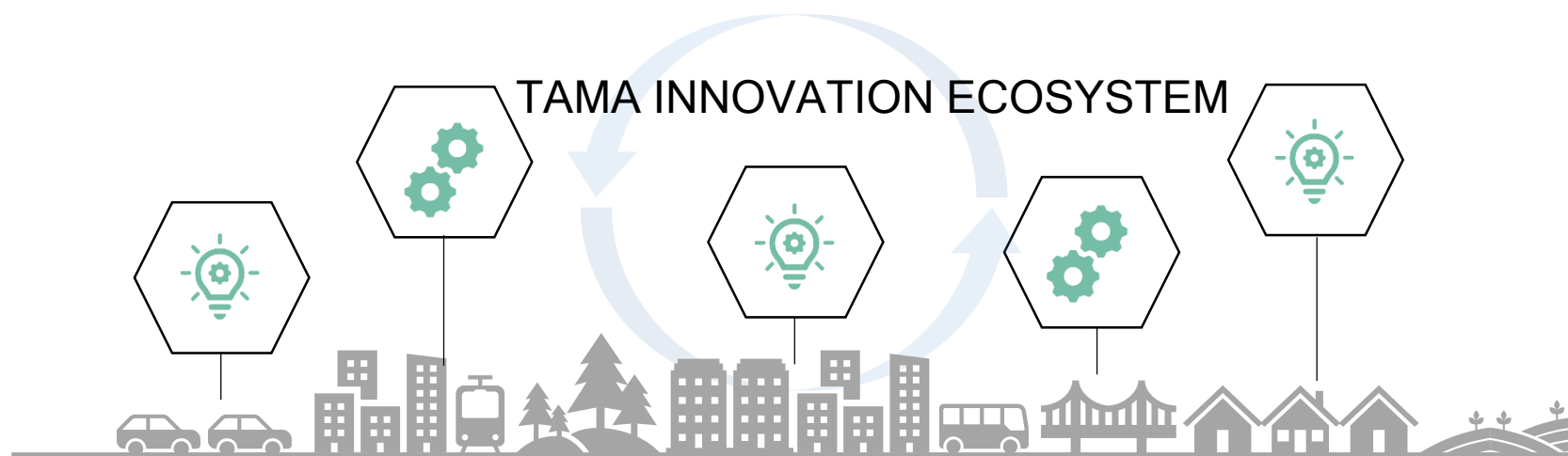


# 多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組方針



多摩イノベーションエコシステム実行委員会  
令和4年3月

# 目次

1. はじめに	2
2. 取組方針のづくり	3
3. イノベーションエコシステムの形成に向けて	4
3-1. イノベーションエコシステムの形成に必要な要素	5
3-2. 国内における先進事例：浜松市	6
3-3. 海外における先進事例：ブリストル（英）	7
4. 多摩地域の現状及び取組の方向性	8
4-1. 多摩地域におけるリソース	9
4-2. 多摩地域における場の構築	10
4-3. 多摩地域におけるネットワーク形成	11
4-4. 多摩地域におけるビジネスプロデュース	12
4-5. 多摩地域における情報発信	13
4-6. 多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組の方向性	14
5. 重点テーマの設定	15
5-1. 多摩地域のイノベーションをけん引する重点テーマ	16
5-2. 多摩地域の特徴と重点テーマ	17

# 1.はじめに

---

多摩地域は、技術力の高い中小企業や大学・研究機関などが集積しており、これらの力を合わせることで、社会的な課題の解決を実現できる高いポテンシャルを持っている。

東京都では、令和元年（2019年）12月に策定した「『未来の東京』戦略ビジョン」において、こうした中小企業等の集積と、国内外の先端産業やスタートアップとの活発な融合により、多摩を世界有数のイノベーション先進エリアへ発展させるべく、「多摩イノベーションパーク構想」を示した。

この構想の実現に向け、都では現在、産業支援機関と連携し、技術や製品開発の支援を行うほか、多摩地域の企業間連携やコミュニティ形成を促す施策を進めており、今後、さらに多摩地域におけるイノベーション創出を活性化するためには、こうした取組を充実させていく必要がある。

そこで、イノベーションを持続的に創出するエコシステムの形成に取り組むため、都は多摩地域の経済団体や支援機関とともに「多摩イノベーションエコシステム実行委員会」を令和3年（2021年）3月に立ち上げた。

本方針は、実行委員会が多摩地域におけるエコシステムの形成に向けた活動を進めるにあたり、その羅針盤として、多摩地域の現状や取組の方向性をとりまとめたものである。

今後は、本方針をもとに、地域の課題解決を図る製品等を生み出すため、多様な主体が交流し連携を強める取組を展開し、多摩地域でイノベーションを起こし続ける好循環をつくることで、さらなる地域産業の活性化を図っていく。

## 2.取組方針のづくり

### 1 イノベーションエコシステムの形成に向けて

- ✓ 今後多摩地域でイノベーションエコシステムを形成するために必要な要素を国内外の先進事例も参考に5つ掲げる

イノベーションエコシステム  
に必要な5つの要素

### 2 多摩地域の現状及び取組の方向性

- ✓ 多摩の地域資源等を調査・分析するとともに、多摩地域の企業・研究機関等へヒアリング・アンケートを行い、現状を整理
- ✓ 現状の分析を踏まえ、今後実行委員会が行う取組の方向性について整理

現状整理  
取組の方向性

### 3 重点テーマの設定

- ✓ イノベーション創出に向けて、多摩地域で重点的に取り組むべきテーマを設定

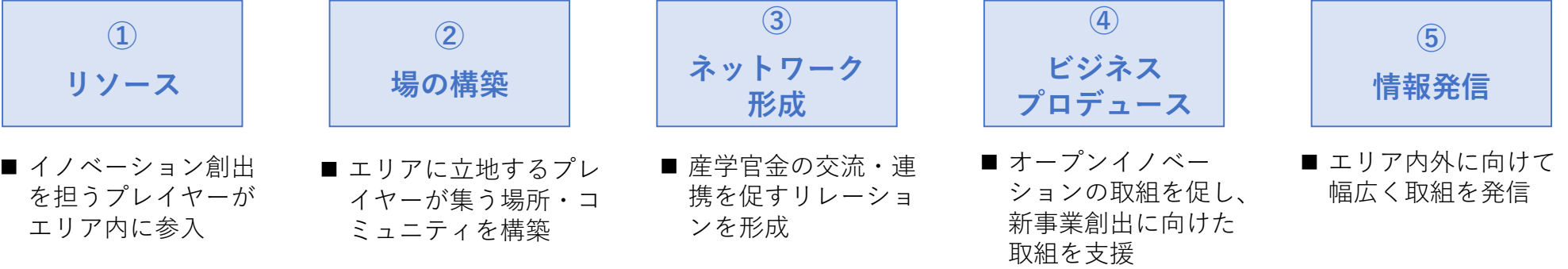
取り組むべき  
重点テーマの設定

## 3.イノベーションエコシステムの形成に向けて

---

# 3-1.イノベーションエコシステムの形成に必要な要素

<b>概要</b>	✓ <b>海外や国内における先進事例</b> の分析を踏まえると、イノベーションエコシステムに <b>必要な要素</b> は <b>5つ</b> に整理できる
-----------	---------------------------------------------------------------------------------



## 国内外の先進事例

浜松市	輸送用機器や楽器などの <b>ものづくりを中心に発展</b> しており、これに加え <b>先端技術を持つ企業が参画</b>	リソース
	<b>フォトンバレーセンター</b> （地域の産学官金のネットワークの中核支援機能）を <b>中心に新産業創出を推進</b>	場の構築
	本市が強みとする <b>光技術等を活用したイノベーション推進事業</b> を通じて <b>産学官金連携</b> を促進	ネットワーク形成
	<b>多様な主体が連携してイノベーション創出を図る取組を支援するチームを設置</b>	ビジネスプロデュース
	こうした <b>取組を株式会社PR TIMESと連携し幅広く周知</b>	情報発信

ブリストル	航空産業を中心とした <b>製造業のまちとして発展</b> しており、近年ではイギリス国内で <b>スマートシティをいち早く掲げ、海外から多数企業を誘致</b>	リソース
	<b>イノベーションの創出拠点である「Engine Shed」</b> があり、ベンチャーのほか支援機関等も入居	場の構築
	ブリストル大学等が <b>企業間のマッチングを促し、イノベーション創出のネットワークを構築</b>	ネットワーク形成
	地域の大学等と共同で <b>インキュベーター</b> を設立し、 <b>スタートアップと大企業との協業を後押し</b>	ビジネスプロデュース
	こうした <b>取組を幅広く周知</b> するとともに、同様の取組を行う <b>海外都市との情報交換</b> を実施	情報発信

## 3-2.国内における先進事例：浜松市

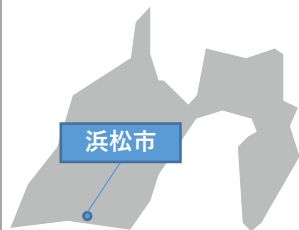
### 概要

- ✓ 既存産業の高度化や本市が強みとする様々な技術を融合させることで、新たな産業の創出を図っている
- ✓ 産官学金が連携し、重点産業分野である医療関連の製品開発を後押しする仕組みづくりが行われている

### 浜松市の概要

#### 地域概要

- 人口：79.5万人（2022年）  
＜参考＞八王子市57.8万人（2022年）
- 主要産業：輸送用機器、光・電子、楽器
- 特徴：ものづくりに特化した産業都市として発展してきた経緯がある



#### エコシステム形成の経緯

- 主要産業として発展してきた輸送用機械のCASE対応や国内市場縮小に伴う主要産業の衰退が課題となっている
- はままつ産業イノベーション構想を掲げ、先端ものづくり産業の集積、オープンイノベーションの推進を図った

#### 現状の展開

- はままつ産業イノベーション構想に基づき、多くの研究開発プロジェクトを創出している
- 光技術や電子工学技術を持つ企業や研究機関などのさらなる集積を図るとともに、関連するベンチャー企業等が新事業の創出に向けて活動している

#### 多摩地域との共通点

- 地理：東京から新幹線で1.5時間の距離に位置する郊外都市である
- 産業集積：輸送用機器、光・電子、楽器など、ものづくりを中心に発展してきた
- 人口：総人口が減少する一方で高齢者数が増加している

### 浜松市のエコシステムの構成要素

#### ①リソース

- 大企業：スズキやヤマハ、浜松ホトニクスなどがオープンイノベーション事業に参画
- 中小企業：輸送用機器関連の中小企業が集積
- スタートアップ：光・電子技術関連やソフトウェア（3D他）が集積

#### ②場の構築

- フォトンバレーセンター（地域の産学官金のネットワークの中核支援機能）を中心に新産業創出を推進

#### ③ネットワーク形成

- 本市が強みとする光技術等を活用したイノベーション推進事業を通じて産学官金連携を促進
- マッチング支援、産学連携推進、海外展開支援を通じ新産業創出・地場産業振興を推進

#### ④ビジネスプロデュース

- 多様な主体が連携して、イノベーション創出を図る取組に対して、研究開発やマーケティングなどを支援するチームを設置

#### ⑤情報発信

- 株式会社PR TIMESと連携し、市内のベンチャー企業に対してプレスリリース配信分が無料になるサービスの提供や広報PRに関するセミナーの共催などの取組を展開

# 3-3.海外における先進事例：ブリストル（英）

## 概要

- ✓ スマートシティの先駆けとして**積極的に行政データの開放・実証フィールドの提供**を打ち出し外国企業誘致に成功した
- ✓ 地域内の**中小企業やスタートアップ**など多様なプレイヤーが**イノベーション創出の取組に参画**している

## ブリストルの概要



### 地域概要

- 人口：46.6万人（2020年）  
※Office for National Statisticsによる最新データ <参考> 町田市43.2万人（2022年）
- 主要産業：**航空宇宙産業、軍需、観光業**
- 特徴：西部の港湾都市であり、外国からの人材・企業の流入がある

### エコシステム形成の経緯

- 貿易港として栄え、様々な国から**企業や人材が集積**しており**イノベーションが起こりやすい土壌**がある
- イギリス国内でいち早くスマートシティを掲げ、行政の抱える**データの利活用の促進・実証の場の提供**を行ったことで、**海外から多数企業を誘致**することに成功した

### 現状の展開

- **都市生活におけるあらゆる情報（エネルギー、大気質、交通に関する情報等）を市民から収集**する
- **収集したデータを渋滞緩和などの交通領域、廃棄物管理、大気汚染対策、エンターテインメント、エネルギー供給・管理など、幅広い都市の社会課題解決のために活用**する

### 多摩地域との共通点

- 地理：ロンドンから車で約2時間の場所に位置する**郊外都市**である
- 産業集積：**航空産業を中心とした製造業都市**からハイテク産業の集積地へと産業構造の転換が図られている
- 人口：50万人以下の**中規模都市**である

## ブリストルのエコシステムの構成要素

### ①リソース

- 大企業：**ノキアが市の実証事業推進を支援**する役割を担当
- 中小企業：物流や航空宇宙関連の**中小企業が集積**
- スタートアップ：**スマートシティ系スタートアップ、クリーンテックスタートアップ**が集積
- 学術機関：ブリストル大学、西イングランド大学

### ②場の構築

- **イノベーション創出の拠点であるEngine Shed**にて、必要な支援をタイミングよく提供
- ブリストル大学と市が共同で運営する施設では**大学発ベンチャーの創業を支援**

### ③ネットワーク形成

- ブリストル大学が運営する「SET squared Bristol」等が**企業間のマッチングを行う**など、**イノベーション創出に向けたネットワークを構築**

### ④ビジネスプロデュース

- 地域の大学等と共同で**インキュベーター**を設立し、**スタートアップと大企業との協業を後押し**
- 都心に住まう住民のデータを収集し、民間企業に提供し、共同で実証を行う取組“Bristol is Open”を実施

### ⑤情報発信

- 同様の取組を行う**海外都市と情報交換**を実施
- 外国企業にも**データの開放、実証の場を提供していることをWebページや展示会を通じて情報発信**



## 4. 多摩地域の現状及び取組の方向性

---

イノベーションエコシステム形成に必要な要素別に  
多摩地域の現状を分析し、取組の方向性を整理

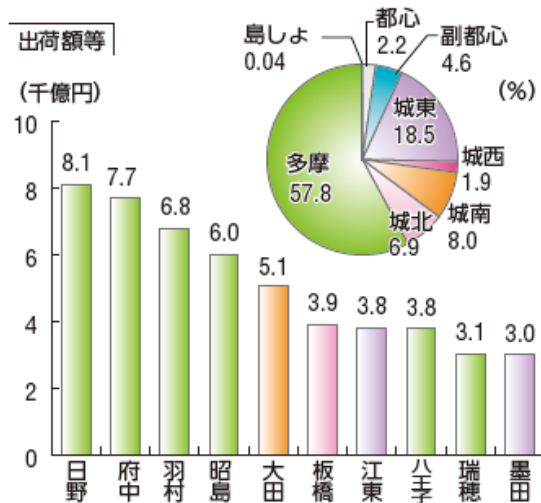
# 4-1.多摩地域におけるリソース

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多摩地域には高い技術力を有する<b>中小企業</b>や<b>大学</b>などが<b>多く立地</b>している</li> <li>✓ 区部と比較すると、<b>スタートアップ</b>の数や<b>スタートアップへの投資額</b>は<b>少ない</b>。多摩地域でのイノベーション創出に向けて、<b>スタートアップ</b>や<b>投資家</b>といった<b>リソース</b>を誘引することが必要である</li> </ul>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 現状

- ✓ 多摩地域には**高い技術力を有する中小企業**が**集積**しており、地域の強みとなっている（図1）
- ✓ 優れた研究を行う理工系や多彩な発想を持つ美術系などの**大学**が**多く立地**している
- ✓ 一方、区部と比較すると、多摩地域に所在する**スタートアップ**の数やスタートアップへの**投資額**は**少ない**（図2、3）。多摩地域でのイノベーション創出に向けて、**スタートアップ**や**投資家**を誘引することが必要である

（図1）区市町村別出荷額（2015年時点）



出典：東京都「東京の工業（工業統計調査報告）」

（図2）多摩地域と区部のスタートアップ数（2021年4月時点）

地域	スタートアップ数 (社)
多摩地域	139
区部	10,795

（図3）多摩地域スタートアップへの投資額と区部スタートアップへの投資額（多摩地域：2021年4月時点、区部：2021年7月時点）

地域	投資額 (千円)
多摩地域	13,890,253
区部	1,160,537,446

出典：「INITIAL」 <https://initial.inc/>（2022年6月付データ）をもとに事務局調べ

## 4-2.多摩地域における場の構築

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多摩地域では、産業支援機関による<b>支援が充実</b>しており、中小企業の<b>ニーズに一定程度寄与</b>できている</li> <li>✓ こうした支援を活用しつつ、個々の技術やアイデアを持ち合わせて、新たなビジネスを創出するためには、<b>相互に交流できるような場・コミュニティの構築</b>が重要である</li> </ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 現状

- ✓ **多摩地域は様々な産業支援機関**が立地しており、**企業の成長段階に応じた支援メニューが充実**している（図1）
- ✓ 6割の企業が支援機関から何らかのサポートを受けており**企業の支援ニーズに一定程度寄与**できている（図2）
- ✓ こうした支援機関のサポートとともに、企業や大学等が集まり個々の技術やアイデアを持ち合わせて、イノベーション創出に向けて相互に**交流できる「場」が重要**という声がある

（図1）多摩地域の産業支援施設

TOKYO創業ステーションTAMA



産業サポートスクエア・TAMA



PlanT

（日野市多摩平の森産業連携センター）

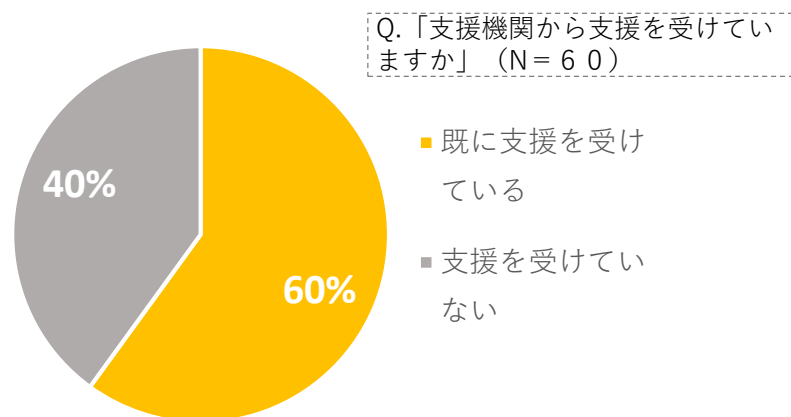


Fabbit八王子



出典：各支援機関の公式HPより作成

（図2）多摩地域の支援機関から支援を受けている企業（アンケート調査）



出典：アンケートをもとに作成

## 4-3.多摩地域におけるネットワーク形成

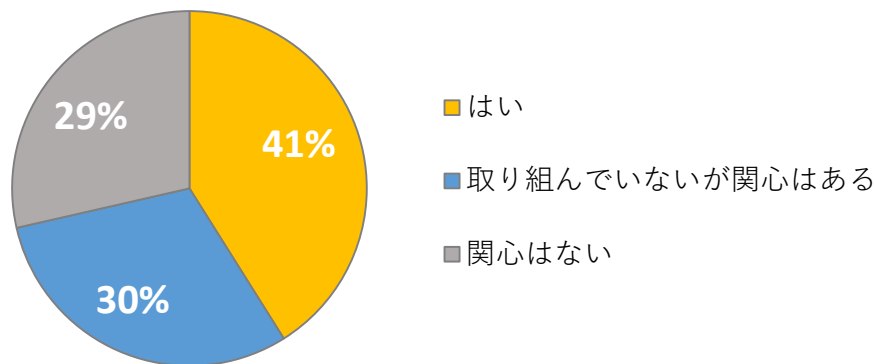
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 社外とのネットワーク形成に関心を持つ企業は多いものの、連携の機会が少ない、方法がわからない等の課題がある</li><li>✓ 形成されたネットワークの有効な活用方法などについて課題を感じている企業も存在する</li></ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 現状

- ✓ 社外とのネットワーク形成に取り組んでいる又は関心があると答えた企業は、約7割である（図1）
- ✓ ネットワーク形成において、取引先以外の企業等との接点が少なく、どのように連携すればよいか分からない等の課題がある（図2）
- ✓ 企業同士のつながりができて、積極的な取組や事業展開には至らないなど、ネットワークを生かしたビジネス創出に課題を感じている企業も存在する

（図1）多摩地域のネットワーク形成状況（アンケート調査）

Q.「社外ネットワーク形成に取り組んでいますか」（N=60）



出典：アンケートをもとに作成

（図2）ネットワーク形成における課題（ヒアリング調査）

### ネットワーク形成における課題

どこと組めばよいか分からない

仕組みづくりそのものがわからない

すぐに業務に結びつかない

コロナ禍でリアルでの会合・セミナーの機会が少ない

現業の業務・ネットワークに手一杯で余裕がない

時間と人材、資金が足りない

自社の知名度不足、ブランディング

## 4-4.多摩地域におけるビジネスプロデュース

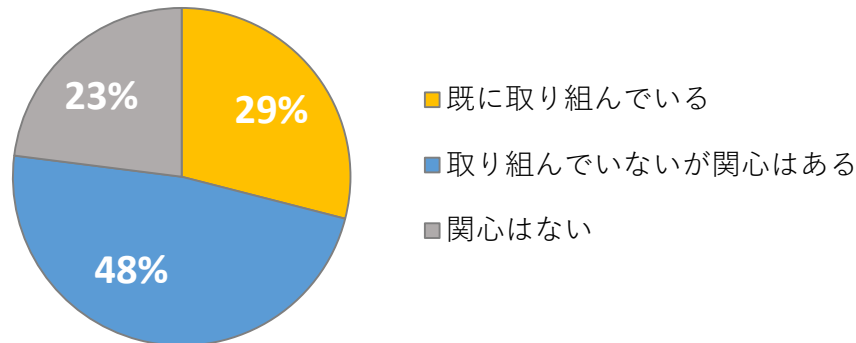
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 社外企業との事業創出に関心があるものの、<b>社内の人員体制や連携後の費用分担などの課題</b>がある</li><li>✓ <b>企業間連携による事業創出</b>の取組をリードできる人材が必要である</li></ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 現状

- ✓ **社外企業との連携による事業創出に取り組んでいる**又は**関心がある**と答えた企業は、**約8割**である（図1）
- ✓ 社外企業との事業創出における**課題**として、**社内の人員体制が不十分**なことや**連携後の費用分担**などが挙げられている（図2）
- ✓ **企業が連携して製品等を共同開発する取組をリードできる専門人材が必要**という声がある

（図1）多摩地域のネットワーク形成状況（アンケート調査）

Q.「社外企業との連携による事業創出に取り組んでいますか」（N=60）



出典：アンケートをもとに作成

（図2）社外企業との事業創出における課題（ヒアリング調査）

社外の企業等と連携における課題
人員や予算が不十分
費用分担や知財の取り扱い
専門人材・専門組織がない
自組織の戦略がない
専門組織がない
目的やスピード感が合わない
組織や担当者のマインド
経営トップのコミットメントが不十分

## 4-5.多摩地域における情報発信

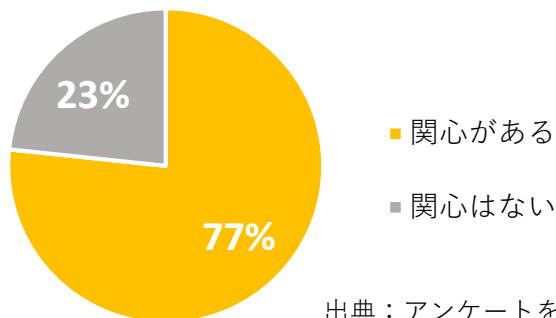
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 多摩の地域課題解決に関心がある企業は多いものの、連携して課題解決に取り組むために必要な<b>企業の情報が手に入りにくい</b>という声がある</li><li>✓ <b>多摩地域の企業や課題などに関する情報発信</b>を効果的に行い、企業や大学等との連携やイノベーション創出を促進することが重要</li></ul>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 現状

- ✓ 多摩地域における**地域課題解決・地域貢献に関心がある**と答えた企業は**約8割**である（図1）
- ✓ 企業の情報を知る機会がないなどの理由から、**各社の技術やアイデア等を組み合わせることで、どのような事業を行えるかイメージできない**という声がある（図2）
- ✓ 多様な手法により、**多摩地域の企業や課題などに関する情報発信**を**効果的**に行い、企業や大学等との連携やイノベーション創出を促進することが重要である

（図1）企業の地域課題解決への関心状況（アンケート調査）

Q.「多摩地域における地域課題解決・地域貢献に関心がありますか」  
(N=60)



出典：アンケートをもとに作成

（図2）情報発信における課題（ヒアリング調査）

### 情報発信における課題

プロトタイプを作り活動したり販売チャンネルを探すときに**情報がなく困っている**

**近くに立地している中小企業同士が何の事業をやっているか分からず**、各社の技術や製品等を連携することにより、どのような事業を行えるかイメージできない

多摩地域のスタートアップを知る機会や、多摩地域の中小企業から技術をピッチする場がほしい

# 4-6.多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けた取組の方向性

<b>概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多摩地域の現状を踏まえると、まだ<b>5つの要素を充足できておらず</b>、イノベーションエコシステムの形成に向けて、<b>不足する要素を補っていくための取組を行う必要がある</b></li> </ul>
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 多摩地域のイノベーションエコシステム形成に向けて

現状

	①リソース	②場の構築	③ネットワーク	④ビジネスプロデュース	⑤情報発信
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>中小企業や大学・研究機関等が集積</b></li> <li>✓ <b>スタートアップや投資家の誘引が必要</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>支援が充実</b>している</li> <li>✓ 新たなビジネス創出のため、各プレイヤーが<b>交流する「場」が必要</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 外部企業との接点・交流が少ないなど、<b>ネットワークの形成に課題</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業間連携による事業創出の取組を<b>リードできる人材</b>が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多摩の企業や課題に関する<b>効果的な情報発信が必要</b></li> </ul>	

取組

<b>新たなプレイヤーの掘り起こし</b>	<b>多摩イノベーションコミュニティの設立</b>	<b>リーディングプロジェクトの実施</b>	<b>Webサイト等の活用</b>	
<b>多摩や区部でのイベントの開催</b>				

将来像

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>不足するプレイヤーを地域内外から取り入れ、必要なリソースを充足</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>イノベーション創出に向けて、プレイヤーが集う場所・コミュニティを構築</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>取組を通じて様々なプレイヤーを呼び込み</b></li> <li>✓ <b>新たな取組に向けてプロジェクト横断のネットワーク形成</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>連携を促進する人材が育ち、新事業を創出</b></li> <li>✓ <b>イノベーションを創出し、地域や企業の課題を解決</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>多様な手法により発信を行い、企業等の連携やイノベーション創出を促進</b></li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

## 5.重点テーマの設定

---

多摩地域のイノベーションエコシステム形成をけん引する  
重点テーマを設定



# 5-1.多摩地域のイノベーションをけん引する重点テーマ

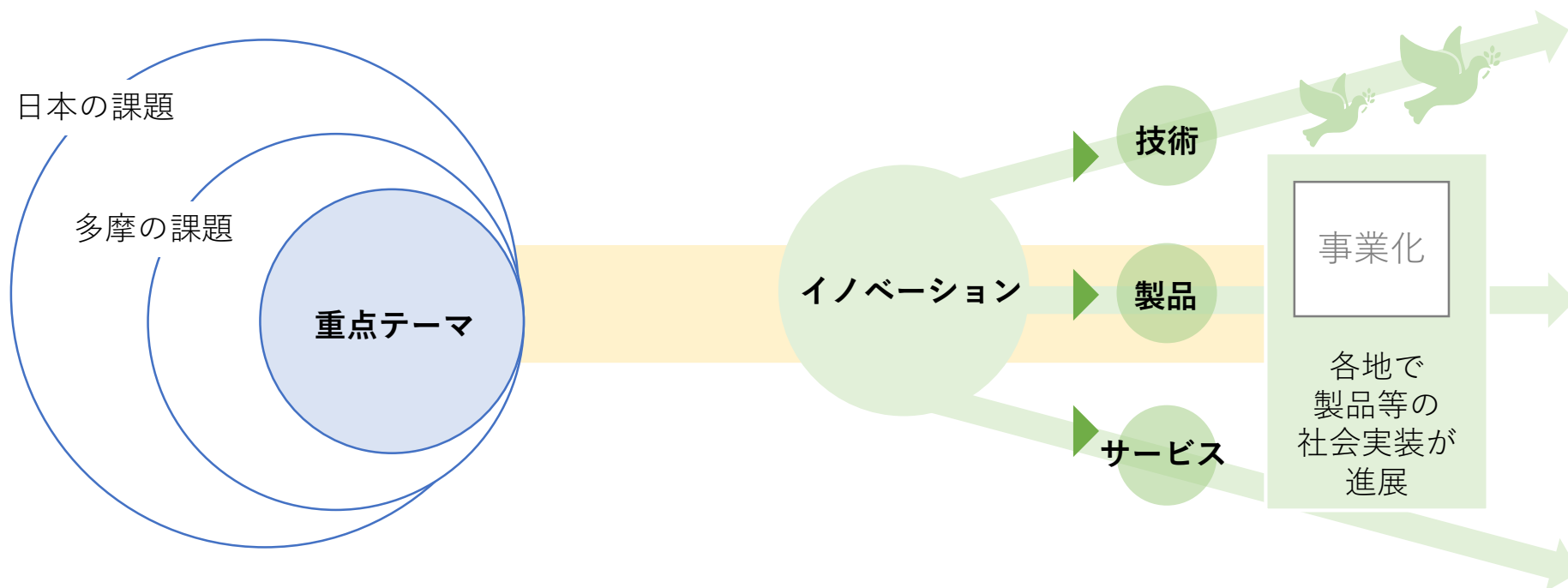
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 今後、多摩地域でイノベーションエコシステムを形成するにあたり、イノベーションをけん引する重点テーマを設定する</li><li>✓ 本テーマをもとに、多摩地域から革新的な製品・サービスを創出し、多摩の課題解決はもとより、全国の課題解決にも寄与していく</li></ul>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 重点テーマの設定

日本が抱える社会的課題や多摩の特徴を捉え、今後多摩地域で行うイノベーション創出に向けた重点テーマを設定

## 多摩発の製品やサービス等の展開

多摩発の製品やサービス等を生み出し、多摩地域の課題解決はもとより、東京、日本の課題解決に向けて展開



## 5-2.多摩地域の特徴と重点テーマ

<b>概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ イノベーションによる解決が求められる多摩地域の特徴（課題、ニーズ、強み等）や<b>市場ニーズ</b>を踏まえて、以下に<b>多摩地域で取り組むべき重点テーマを設定する</b></li> <li>✓ 今後はこれらをテーマに、多様な主体が連携して取り組むプロジェクトを支援する</li> </ul>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 多摩地域の特徴

- 環境に優しいまちづくりに向けて、**省エネ化や再生可能エネルギーの活用**により**CO2排出量の削減等の取組**が必要
- 多摩ニュータウンなどを中心に高齢化が進み、**後期高齢者や一人暮らし高齢者が増加**
- 人口減が避けられない状況であり**子育て世代が暮らしやすい環境づくりが必要**
- 台風等による多摩川や秋川の溢水、土砂災害など**自然災害による被害**が発生
- **犯罪件数は減少傾向**にある
- **都心部からの立地や豊かな自然環境**といった魅力の向上と発信が必要
- ECの拡大などに伴う**物流の効率化が大きな課題**
- **自動車への依存度が高い**ため、高齢化の進展に伴い交通弱者が増加
- **空き家が増加**し、周辺生活環境や治安への影響が懸念。また、**地域における繋がりが希薄化**
- 多摩地域の**高い技術力を持つ中小企業**が成長するためには、**新たな事業展開**に向けた取組が不可欠
- **ものづくり企業の技術者等の高齢化に伴い、後継者の確保や育成が課題**



### 重点テーマ

環境・エネルギー	• <b>省エネ対策、再エネの地産地消、リサイクル推進</b> や <b>ごみ削減</b> などに資する技術を開発
健康・医療	• <b>ものづくり企業の高い技術力</b> を活用し、 <b>ヘルスケア分野の製品等</b> を創出
子ども・教育	• <b>子育て負担の軽減</b> のためのソリューションにより、 <b>子育て・教育環境を更に充実</b>
安心・安全	• <b>先端技術等を活用</b> して、 <b>さらなる安心・安全なまちづくり</b> を推進
観光・レジャー	• ポスト・コロナにおける <b>近距離の旅行スタイルを確立</b> し、 <b>観光・レジャーの新たな価値を創出</b>
物流・モビリティ	• 物流の効率化や移動手段の確保に向けて、 <b>新たな物流や移動手段を開発・実装</b>
コミュニティ活性化	• 空き家など <b>スペース活用</b> による <b>地域のコミュニティ再活性化のモデル</b> を構築し、全国へ展開
ビジネスモデル改革	• 環境変化に対応し、競争力の維持・向上により <b>成長産業分野への参入</b> を加速
人材確保・育成	• <b>先端技術の活用などによる技術伝承の仕組み</b> を確立